

## 協定校留学報告書

記入日	2025/07/03
学部・学科	理工学研究科・都市システム工学専攻
学年	修士2年
(留学開始時の学年)	修士1年
留学先大学・国名	仁済大学校・韓国
留学開始・終了時期	2024年 09月 ~ 2025年 06月 (10ヵ月)

### 1. 留学前について

① 海外留学しようと思った理由は何ですか
私が海外留学しようと思ったのは、日本の外に出て、違う価値観や文化の中で建築や街づくりを見てみたいと思ったからです。旅行でフランスを訪れた際、古い建物が今も街に残る様子を見て、建築や都市デザインにはその国の文化や価値観が表れていると感じました。韓国は変化のスピードが早く、新しいものを柔軟に取り入れる街の姿が印象的です。そんな環境で学ぶことで、自分の視野を広げたいと思い、留学を決めました。
② この協定校に決めた理由を教えてください。
仁済大学校を選んだ理由は、建築学科があり、専門的な学びを深められる環境が整っていることに加えて、留学生へのサポート体制が充実している点に魅力を感じたからです。勉強だけでなく、現地での交流や課外活動にも積極的に参加できる環境があることで、より広い視野で建築や都市デザインを考える経験ができると思いました。
③ 留学の準備はいつ頃開始しましたか。
留学開始(9月)の一年半前。大学で行っている留学相談会への参加や、韓国語の勉強、両親・指導教授への相談をするため約一年半前の前年5月から準備しました。
④ TOEFL の受験対策など、語学の準備はどのようにしましたか。
私は韓国語で正規の授業を受けるため、TOPIK (韓国語能力試験) を受験しました。もともとハングルは書ける状態でしたが、毎日2~3時間の勉強を約4か月続け、正規留学が可能なレベル(5級)まで達しました。TOPIKは日本では年に3回しか受験することができず、申し込みも約2か月前で締め切られるので、もし語学力を証明するものがほしいのであれば注意してください。
⑤ 単位や教職、就職活動等に関して、留学前にしておいたほうが良いことがあれば教えてください。
工学部や理工学研究科では、専攻の必修授業が多く、研究活動にも影響するため、単位互換や留学に行くことさえも難しく感じられます。私は、必要な単位を全て茨城大学で取ってから留学、また卒業を1年遅らせました。両親や指導教員の協力があったからこそなので、よく相談してください。
⑥ どのような保険に加入しましたか。( ) に○をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険 ( <input type="radio"/> ) b. 個人の保険のみ ( <input type="checkbox"/> ) c. 大学指定の保険と個人保険の両方 ( <input type="checkbox"/> )
⑦ 予防接種は必要でしたか。( ) に○をつけてください。

- a. はい ( ) 具体的に：  
b. いいえ ( ○ )

⑧ 留学先への入国手続きについて、どのように準備しましたか。  
(査証申請手続き等)

留学先の大学からの正式な留学許可が留学開始 2 か月前 (7 月中旬) に下り、その後大使館へビザ発行の申請を行いました。ビザ発行にあたり、準備するものも多く、事前予約が必要、一週間前の木曜日から先着順、さらに東京に行かなければならなかったため、スケジュール調整が大変でした。実際に大使館に訪問し (7 月末)、その結果が出るのにも 2 週間かかるので、正式に留学できることが決まったのが留学開始 2 週間前 (8 月中旬) という非常に緊迫した状況でした。提出する資料に不備がないか確認し、一発で許可が得られるようにしないと間に合いません。。。

## 2. 留学先での勉強について

① 留学先で履修した科目名、時間数、授業内容についてなるべく詳しく教えてください。

一年間で、専攻科目 5 科目、教養科目 7 科目履修しました。韓国語の授業など留学生向けの授業はいくつかありますが、私は正規授業を受けました。正規授業は、他の現地の学生に混ざって韓国語で行われます。成績について、仁済大学校は相対評価なので、他の現地の学生と比較した成績が出ます。

※留学生向けの授業は異なる場合があります。

② 授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。

正規授業の履修登録は授業開始 (9 月) の二週間前 (8 月中旬) にポータルサイトで行われます。留学生向けの授業は一覧で案内されますが、正規授業は自分で時間割を組む必要があるので注意してください。授業開始から一週間は授業の追加・取り消しが可能です。

③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。

困ったことは、語学の問題です。読む・書く・聞く・話す、すべて韓国語なので授業についていくのが大変でした。また、仁済大学校が釜山の方にあり方言があるので、ある程度勉強していましたが聞きなれた韓国語でなく苦労しました。

うまくいったことは、生活面です。仁済大学校がバディプログラムがあり、交換留学生ひとりひとりに現地の学生がつくのですが、分からないことがあればその学生がサポートしてくれるので生活面での苦労は少なかったです。また、韓国語を自分である程度勉強して留学に臨んだので、現地の友達をたくさん作ることができました。

努力したことは、勉強面です。語学の勉強に加えて、授業の勉強もしなければならぬので、それなりに努力しました。他の現地の学生と同様に韓国語で試験を受けるので、授業の内容を韓国語で表現するためにたくさん練習しました。

### [前期] 時間割

	月	火	水	木	金
1(9:00)					
2(10:00)					
3(11:00)	発掘で見る古代文化	映像で出会う			

4(12:00)		韓国文化		建築と形態	
5(13:00)					
6(14:00)		発掘で見る古代文化			
7(15:00)			国際開発協力と 世界市民	韓国建築史	
8(16:00)	現代建築史				
9(17:00)					
10(18:00)					

### [後期] 時間割

	月	火	水	木	金
1(9:00)					
2(10:00)					
3(11:00)	SF 小説の中の 未来社会を読む	文明と宗教	人間行動と 適応心理学	SF 小説の中の 未来社会を読む	
4(12:00)		韓国人物史研究	文明と宗教		
5(13:00)					
6(14:00)					
7(15:00)					
8(16:00)	西洋建築史				都市計画
9(17:00)			都市計画		
10(18:00)					

### 3. 留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか
<p>韓国では、大学がある町は飲食店や居酒屋が集まっていることが多いです。仁済大学校がある町も大学近くは飲食店があり夜でも明るい。キャンパスの雰囲気は、いろいろな学部が集まっているので男女比率は半々くらいでした。他の韓国の大学と比べると小規模ですが、キャンパス内に食堂やコンビニがいくつかあったり、各棟にカフェがあったり外部からも人が来ている様子でした。</p> <p>金海市というところに位置しているのですが、釜山の中心地まではバスや電車で約 1 時間（車で約 30 分）です。</p>
② 留学中はどこに住んでいましたか。
<p>a. 寮（○）： 何人部屋でしたか（ 2 人）</p> <p>b. アパート（ ）： 何人部屋でしたか（ 人）</p> <p>c. ホームステイ（ ）： 何人部屋でしたか（ 人）</p> <p>d. その他（ ）具体的に：</p>
③ 住むところはいつ頃、どのように申し込みましたか？また、どのような選択肢がありましたか？
<p>交換留学生は寮で生活することが決められているようです。申請等は必要なかったです。</p>

④ 住環境（建物の場所、お部屋の間取りや設備、ルームメイト等）はどうでしたか。	
寮はキャンパス内にあり、カードキーで入館するためセキュリティがしっかりしており、安心して生活できました。部屋は二人部屋で、トイレとシャワールーム（ユニットバス）は部屋の中にあり、個人のベッドと机、収納スペースがあります。ルームメイトは、前期と後期で変わりましたがどちらも日本の学生でした。他の学生の中には、中国の学生や、現地の韓国の学生とルームメイトだった人もいますが、基本的に配慮してくれると思います。	
⑤ 食事はどうしましたか。	
a. 大学・寮のミールプラン（    ） b. 主に外食（    ○  ） c. 自炊と外食が半々程度（    ） d. その他（    ）具体的に：	
（補足説明） ・寮について、夏休み・冬休み期間は寮から出ないといけません。周辺のホテル等で生活することもできますが、私含め他の留学生は一度帰国していました。 ・食事について、寮にキッチンと冷蔵庫がないため、外食するしかありません。寮の一階にあるコンビニや、ウーバー、キャンパス内の食堂、キャンパス外の飲食店などで食事を済ませていました。	
⑥ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか。	
他の留学生とは、授業が同じであれば交流を深めることができると思いますが、私は、正規授業を受けていたので他の日本人留学生の紹介で仲良くなりました。また、上（2-③）で記載した通り、バディプログラムがあるので、現地の学生とはバディの紹介や、同じ専攻の学生、サークル等で交流を深めました。正規授業を受ける留学生がめずらしいので、向こうから話しかけてくれることもありましたが、基本的にはこちらから積極的に話しかけにいきました。	
⑦ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか。	
上（3-補足説明）で記載した通り、長期休暇中は寮を出なければならぬため、私は帰国しました。中には、1か月間、ソウルのホテルで過ごしていた学生もいました。	
⑧ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。	
気候や治安は日本と似ているので、日本で注意するように過ごしました。風邪など体調を崩したときは、日本と同様、病院に行き薬をもらうことができます。	
⑨ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。	
文化的には、日本と似ているので大きなギャップはなかったです。ただ、韓国は日本でいう「マイナンバー制度」が定着していて、それに紐づいた電話番号がなければいろいろと不便だったので、現地の携帯ショップで契約して現地の番号をもらうことをおすすめします。ただ、現地の電話番号をもらうためには、外国人登録証が必要で、発行されるまで、留学開始から1か月ほどかかるので、それまではSimカード等で対応するのが良いと思います。	

#### 4. 留学費用について(差支えない範囲でお答えください)

※各費用の下の空欄には補足事項をご記入ください。どんな些細な情報でも大歓迎です。

##### 留学前

査証申請費	0円
-------	----

渡航費(往路航空運賃)	25,000 円
海外旅行保険代（出発前に日本で加入したもの）	55,000 円

### 留学中

授業料（有料コースを受講の場合）	円
授業料以外の学費（教材費や登録料）	10,000 円
現地で加入した保険料	
住居費（寮費）	0 円
住居費（寮費以外の費用、光熱水料やインターネット）	0 円
食費（自炊・外食の有無）	60,000 円/月
通信費（SIM カードや現地でスマホ購入等）	2,000 円/月
交通費（通学に必要なバスや休日市内での公共交通機関）	150 円/回
娯楽費（国内旅行に行ったり）	30,000 円/月
その他生活費	円
渡航費(袋航空運賃)	円
留学先でのお金の管理方法（クレジットカード、デビットカード、現地での口座開設等）	
日本のクレジットカード → 現地での口座開設 → 現地のデビットカード	

### 留学経費の負担について

留学のための奨学金等や助成金を利用した場合は以下もご記入ください	
奨学金名	茨城大学協定校海外派遣留学奨学金
応募方法	大学の案内に従って応募

## 5. 今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。(わかる範囲で結構です) ○をつけてください。
a. ( ) 4年で卒業予定
b. ( ○ ) 卒業は延期する予定(延長予定期間: 1年 )
② 就職・進学のための活動について教えてください。(留学中にしたこと、留学後の予定など)
留学後、研究活動と就職活動をする予定です。

## 6. 留学について

① 留学を終えての感想を教えてください。
韓国での留学は、建築や都市デザインだけでなく、生活を通じて文化や価値観の違いを肌で感じられる貴重な経験でした。特に、長期休暇中でつぶれたお店があったり、流行の食べ物のお店が一気に何店舗もできたりと、韓国の都市空間の変化の速さや、人の流れに合わせて柔軟に変わる街の姿には驚きました。語学面では苦労もありましたが、バディ制度や怖がらずに積極的に声をかけたことで、現地の友だちもたくさん作ることができ、語学も上達しながら、充実した留学生活を送ることができました。何より、文化や価値観の違いを日々の暮らしの中で「体感」できたことが一番の収穫でした。机の上で知識として学ぶのと、実際に体で感じるのとでは全く違い、今回の留学は、単に知識を増やすだけでなく、自分の感じ方や考え方そのものを大きく変えるきっかけとなる貴重な経験となりました。
② 留学して、何が変わったと思いますか。
留学して、自分の中にあった「当たり前」の基準が大きく変わりました。日本で過ごしてきて当たり前だと思っていたルールが、何のためにあるのか、と考えることが増えたように思います。それについて、正解はありませんが、違う文化の中で暮らすことで、多様な考え方や価値観に触れ、柔軟な視点を持てるようになったと思います。また、韓国語で議論やプレゼンをする経験を通して、「伝える力」や「自分の考えを持つこと」の大切さを改めて実感しました。言葉に詰まりながらも、一生懸命に説明したことが伝わったときの達成感は、これから何かに挑戦するときの自信につながると思います。
③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。
少しでも興味があり、チャンスがあるなら、ぜひ挑戦してみてください。最初は不安もありますが、現地には助けてくれる人もいて、意外と何とかなるし、何とかする力が自然と身につきます。実際私も、言語の壁や授業の不安、生活のことなどいろいろと心配はありましたが、それ以上に得られるものは本当に大きいです。留学は、知識だけでなく、自分自身の成長にもつながる大きな機会です。応援しています。